



総会・会長挨拶

新会員七人迎えて

光寿会定期総会
 平成二十年度光

寿会定期総会が、三月十日いかるぎ館に於いて開催されました。林成憲会長以下執行部は全員再任、各常会選出役員四人が新たに選任されました。



村岡修一市議

十九年度事業・決算、二十年度事業・予算が原案どおり可決されました。日帰りお楽しみ会（六月）、一泊旅行（十月）、ペタンク大会（九月）旅行、月刊広報刊行、生き生きサロン浮世亭などの事業が継続実施されることになりました。

平成二十年度 光寿会役員

- 総会終了後、村岡修一市議員の市政報告を聞きました。
- 顧問 林 年春
 - 会長 林 成憲
 - 副会長 八田 嵩
 - 庶務 林 逸子
 - 会計 武部 幹夫
 - 役員 林 礼子
 - 坂東 池田 富子
 - 坂東 開田 紀子
 - 北明 林 愛行
 - 北明 林 勉一
 - 正覚 武部 幹夫
 - 正覚 八田 嵩
 - 川原 林 茂之

六十万四千円の新年度予算可決
 慶弔費十六万円、広報発行費八万円などを主な支出とする新年度予算案が承認されました。詳細は左表の通りです。

川原 齋藤富美子
 善導 林 喜與志
 公文名 林 義夫
 監事 武部由美子
 新入会員 林 明子
 齋藤恵美子 坂東 林 敬子
 三門明武志 北明 林 節子
 北條 麻子 正覚 林 紘
 齋藤 征子 公文名 林 善導

【収入】

No.	項目	19年度予算額	20年度予算額	増減	付記
1	会費	420,000	422,000	2,000	(¥2500×160名)+(¥1000×22名)
2	市助成金	60,000	60,000	0	砺波市老人クラブ
3	雑収入	586	306	△280	貯金利息
4	繰越金	99,414	121,694	22,280	前年度繰越金
5	収入合計	580,000	604,000	24,000	

【支出】

No.	項目	19年度予算額	20年度予算額	増減	付記
1	総会費	70,000	70,000	0	H20年3月の総会費用
2	会議費	15,000	25,000	10,000	役員会茶菓子他
3	旅費	5,000	5,000	0	会合等交通費
4	事務費	10,000	15,000	5,000	資料印刷費、事務用品
5	研修費	25,000	25,000	0	役員研修会助成
6	広報発行費	80,000	80,000	0	「光寿」印刷材料費
7	作品出展費	5,000	5,000	0	出展お礼
8	忘年会助成金	15,000	20,000	5,000	敷物代等助成
9	旅行助成金	30,000	35,000	0	一泊旅行助成
10	日帰りお楽しみ会	20,000	25,000	5,000	敷物代助成
11	体育系助成金	50,000	50,000	0	ペタンク大会(光寿会、般老連)
12	慶弔費	160,000	160,000	0	入院見舞、香典、花輪、喜寿祝
13	分担金	50,000	50,000	0	般老連、市老連
14	雑費	8,000	10,000	2,000	何れの項目にも該当しない費用
15	予備費	37,000	29,000	△8,000	各事業の予備費
16	支出合計	580,000	604,000	24,000	

季節のうつた
 湯の宿の真昼の宴山笑う

故坂東ぞとい句集「柿の花」より



御忌・追悼会 20/03/09

恒例の御忌
 法会が三月九日九時半より、いかるぎ館において開催されました。雨もようながら大勢の方々が御参りされました。午前中は南桂寺さんの法話と御文章の読誦がありました。午後からは今年度お亡くなりになった八田溪一さん(釈恵寿)、林與三(釈恵正)、最勝院白浄自性妙弥、坂東清さん(清浄院釈徹妙)、齋藤信一さん(釈恵正)、開田寿志さん(開放院釈顯寿)、林甚作さん(釈超然)、中神達甫さん(釈報徳)ら七人の遺族を招いての追悼法要と、西慶寺さん、常称寺さん(若はん)両住職の法話が行われました。今回のお世話は北明常会の方々がいたしました。

頼成の「○○バヤシ」と言うけれど

頼成苗字考 (その二)

都道府県別で上位十位までに「林」が入っている県は六県あり、岐阜で四位、石川・和歌山で六位、徳島で七位、山口八位、京都九位、滋賀十位となっている。さらに二十位までを見ても大阪、福井、長野、愛知、福岡、三重が加わりますが、興味深いのはこれらすべてが中部以西の西日本に偏っていることです。東北・北海道など東日本には林が上位に入っていない県は一つもありません。理由はよく分かりません。

それにしても「林」は、日本中に十萬種以上もある姓の中で十九番目に位置するわけで、きわめてポピュラーな苗字ということになります。ちなみに、頼成に多いその他の苗字の全国ランクは左表の通りです。

苗字にはそれぞれ由来があります。例えば「齋藤」は古代貴族の藤原氏一族のうちで、祭祀に携わったものが「齋」（いつくし神に仕えるの意）と藤原の「藤」を合わせ称したもので、藤原利仁の子、齋宮頭叙用が初めとされています。一般に藤の字のつく苗字加藤、伊藤、佐藤、工藤などは藤原氏の流れを汲むものと考えられています。

頼成の主な姓の順位

	頼成	般若	砺波	富山	全国
林	1位	1位	1位	2位	19位
八田	2位	2位	20位	558位	912位
齋藤	3位	3位	4位	18位	1363位
開田	4位	10位	1444位	5051位	
高島	5位	8位	234位	1480位	
坂東	6位	29位	384位	851位	
武部	7位	30位	356位	2040位	

また、古代、朝廷や中央豪族のもとで生産や技術を提供した人々の集団を「部(べ)」と言いますが、「武部」もその一つで、衣服を作る服部(はとりべ)はつとり)、土器を作る土師部(はじべ)はじ、漁をする海部(あまべ)かいふ)などと同じく、建物を造る建部(たけべ)に由来し、それがいつの間にか武部・竹部というふうに変化したものと考えられます。

3月のらんじよ浮世亭

浮世亭の3月らんじよは、17人の参加者、羽根つ子の部では17人、合計27名が参加された。結果、羽根つ子の部では、お花見屋食会が優勝した。お花見屋食会は、お花見屋食会が優勝した。お花見屋食会は、お花見屋食会が優勝した。



お花見屋食会は、お花見屋食会が優勝した。お花見屋食会は、お花見屋食会が優勝した。

27人の方々が参加され熱心に取り組まれました。

次回は4月17日(木)です

水曜になりました。午後の正信偈書きの会はお休みします。

会場の都台で定例の第三水曜でなく

船が散っていてもご免ね

お花見屋食会

やまぶき荘にて 会費千円
いかるぎ館前出発 9:30
帰着 15:30
定食昼食・入浴・休憩・余興などお誘い合わせご参加下さい。
準備の都台もあり、別添の申込書で光寿会の常会役員までお申し出下さい。



般若ペタンク同好会新会長に林孝雄さん
会員六十四人中光寿会会員が二十七名を占める般若ペタンク同好会の総会が三月二十四日開催され、新会長に林孝雄さんが選出されました。また前会長の林成憲さんが参与、武部由美子さんが副会長にそれぞれ就任されました。

いかるぎ 鰯木

「一笑一若一怒一老」

過日の御忌のおり、南桂寺さんが法話の中で表記の言葉に触れられました。中国の古い言葉のようで、人間一度笑うと一つ若返り、一度怒ると一つ老けるということのようです。

このところ世の中には怒らずにいられないことがあまりにも多く、どれもこれもに怒っていると、あつという間に寿命が終わりそうです。

一説によれば笑いは体内のホルモンの分泌を促すものらしく、医療施設などで「笑い」を治療法の一つとして取り入れられているところもあると聞きます。

「快老生活の心得」などの著書のある医学博士齋藤茂太氏に標題の著書があり、その各章の見出しにいわく「好奇心を大事にする」「無病息災は早死、数病息災は長生き」「無趣味はうつ病のもと」「メモの習慣が衰える脳細胞を活性化」「死ぬまでつき合える友を持つ」「行きたいところに旅をする」「ひとりのときでもおしゃれを愉しむ」「いつも「感じる人」である」とあつて、どれも人生の指針として含蓄のある言葉と思いが紹介する次第です。

三月五日、いかるぎ館に先月号で既報の暗幕設備が取り付けられました。液晶プロジェクトを利用した企画が、部屋の明るさで今ひとつ満足できない状態でしたが、これで十分に活用できることになりました。自治会の迅速な対応に感謝したいと思います。

4月行事予定

★1日	定例役員会
★10日	高齢者学級開講式
★16日	ペタンク練習開始
★17日	らんじよ浮世亭 お花見屋食会

主な大会日程

5月	市老連大会
6月	県老連大会
9月	光寿会大会
10月	般老連大会

参加自由
いかるぎ館西側広場

四月十六日
(水)から
毎週水・土曜日
の午後一時半
練習開始

Challenge The PÉTANQUE